

SBS²⁰⁰⁸カップ 国際ユースサッカー

8/23^土・24^日・26^火

参加チーム

-  U-19 アルゼンチン代表
-  U-19 オーストラリア代表
-  U-19 日本代表
-  静岡ユース

大会日程

- 8/23^土** 会場/愛鷹多目的競技場
 U-19日本代表 VS U-19オーストラリア代表 午後3:00 KICKOFF
 静岡ユース VS U-19アルゼンチン代表 午後5:20 KICKOFF
- 8/24^日** 会場/日本平スタジアム
 静岡ユース VS U-19オーストラリア代表 午後0:55 KICKOFF
 U-19日本代表 VS U-19アルゼンチン代表 午後3:05 KICKOFF
- 8/26^火** 会場/エコパスタジアム
 U-19日本代表 VS 静岡ユース 午後2:00 KICKOFF
 U-19アルゼンチン代表 VS U-19オーストラリア代表 午後4:20 KICKOFF

前売券 好評発売中

	一般	高校生	中学生	小学生
前売券	1,300円	600円	300円	200円
当日券	1,500円	800円	500円	300円

※前売券は1枚で3日間有効 ※一般券は1枚につき小学生以下1名無料

チケット取り扱い

- チケットぴあ (ファミリーマート、サークルK、サンクス) (Pコード681-197)
- ローソン (Lコード47618)
- セブンイレブン
- 静岡新聞社・静岡放送 (本社事業局、東部総局、浜松総局)

- 主催/財日本サッカー協会、財静岡県サッカー協会、静岡新聞社・静岡放送
- 後援/外務省、文部科学省、アルゼンチン共和国大使館、オーストラリア大使館、静岡県教育委員会、財静岡県国際交流協会、開催各市、開催各市教育委員会、開催各市国際交流協会、TBS、財静岡県サッカーを愛する会
- 協力/清水エスパルス、ジュビロ磐田、アーマ、キリンビバレッジ
- 友好大会/トゥーロン国際トーナメント
- お問い合わせ/静岡新聞社・静岡放送事業局内 大会事務局 TEL.054-284-8927

SBSテレビ

『待ってろ! 世界!! ~ここが原点~』
ON-AIR スケジュール

- 8/21 (木)** 深夜0:55~ 出演/U-19日本代表 注目選手
- 8/22 (金)** 深夜0:55~ 目指せ連覇!! 静岡ユース

※放送時間は、変更になる場合もあります。

move! move!
静岡新聞 SBS

特集: 2008 SBSカップ 国際ユースサッカー

U-19日本代表 牧内辰也監督 「SBSカップ 国際ユースサッカー」を、語る。



牧内辰也監督プロフィール

1964年生まれ。鹿児島県出身。現役時代はDF。鹿児島商業高校時代、高校選手権で大会優秀選手に。福岡大学を経て、全日空へ。1992年に現役を引退。以降、名古屋グランパスやアビスパ福岡、サンフレッチェ広島で、サテライト監督や育成担当を務め、2007年1月より、U-18日本代表(現U-19代表)監督に就任。2009年に行われるFIFA U-20ワールドカップ出場を目指す。

これまでの遠征や練習を経て、やるべきことはチームに浸透してきていると感じています。格上の相手と対峙しても、慌てずに落ち着いて、自分たちのペースで試合ができる時間が増えてきました。しかし、先に失点してしまったときなど、流れが傾いたときに、まだ難しさがある。そういうときでも、自分自身を保ちながら周りも鼓舞できる選手が増えて、さらに活力のあるチームになっていくことが、いまの課題。私は選手たちに、日本代表としてどんな状況でも目標を見失

U-20 W杯を目指して

来年エジプトで開催されるFIFA U-20ワールドカップに出場し、そこで好成績を収めることが、このチームを立ち上げのときの目標です。その出場権をかけて、10月末からサウジアラビアでアジア最終予選となるAFC U-19選手権に臨みます。決して簡単ではありませんが、必ず世界を経験しよう、世界の中で自分たちがどれくらいできるかというところにチャレンジしようというのを、スタッフとも選手たちとも、繰り返し話し合っています。

サウジアラビアでの試合は、高温多湿という過酷な環境や慣習との戦いもあります。勝ち抜くには、独特の環境と、相手選手の特徴をつまみつかむことがポイントになるでしょう。そういうものに動揺しないで、自分たちのプレーができるかどうか、が鍵になると思っています。

貴重なシミュレーションの場

SBS杯には、昨年、U-18代表を率いて出場させてもらいました。真夏の連戦で、コンディション的には難しかったけど、いい経験になりました。高温多湿の気候環境の中での連戦というのは、約2カ月後に迫ったサウジアラビアでの戦いと同じです。我々にとって、貴重なシミュレーションの場となる大会という意識で臨みたい。サッカーの内容もですが、チームが

やるべきことを確認しつつ、勝敗にもこだわって戦いたいと思っています。

この時期に、強豪国のU-19代表と対戦できるのも、大いに役立ちますね。アルゼンチンは、前回のU-20 W杯の優勝国です。90分間アグレッシブなパフォーマンスを続けることができ、確かな技術もあります。オーストラリアは、昨年1月に遠征した国。そのときの対戦では、フィジカルの強い選手が多く、チーム戦術も優れているという印象でした。試合スコアは3:3でしたが、そのときからお互いどう成長しているかが楽しみでもある試合です。

敵い中でも自分を出せる強さを

我々のチームは、タレントも揃っていますが、みんなが攻守に連動することで、その個々の力がより大きな力となって発揮されるというのが特徴です。攻撃も守備も、単独のプレーだけではなく、複数の選手が一人の動きやプレー、ボールにアグレッシブに関わっていく。そういうチームを目指してきています。ひとりで言えば「人もボールも動くサッカー」ですが、そのコンセプトは、どのカテゴリーの日本代表チームにも共通すること。実践するには、全員が共通理解を保ちながら動くことが必要です。その点の強化を、これからの活動で徹底したい。大会形式で海外の強豪と対戦できるSBS杯は、その絶好の機会です。

SBSカップを見続けて

1999年(平成11年)、ナイジェリアで行われた世界ユース(U-20)選手権。日本は世界の分厚い壁を乗り越えて、銀メダルを獲得した。この時、世界の強豪を次々と倒し、快進撃をみせた面々を「黄金世代」と呼ぶ。この黄金世代が勢ぞろいし、世界準Vへの第一歩を踏み出したのが97年のSBS杯、第21回大会である。アフリカの地で世界に存在感を示した黄金世代。本県からはGK南雄太(静岡学園高)=現柏=、DF石川竜也(藤枝東高)=山形=、MF小野伸二(清水商高)=ポーfum=、FW高原直泰(清水東高)=浦和=の4選手が名を連ねた。準Vに貢献した本県カルテットはその2年前、SBS杯のピッチに立っていた。石川、小野、高原は日本ユースのユニホームを着て、南は静岡ユースの守護神として。海外からはユベントスとアメリカ・カリのユースチームがやって来た。ユベントスはイタリア、アメリカ・カリはコロンビアを代表するクラブで、ユースチームも実績十分だった。強豪2チームを相手に、4選手は2年後の活躍を予感させるプレーを随所に披露していた。

~第5章~ 黄金世代が勢ぞろい 静岡新聞社編集部 加藤 訓義

日本ユース組は、高原が3試合で4得点をたたき出して最多得点をマークした。主将を務めた小野はゲームメーカーとして中盤を支え、巧みな動きで好機を演出。石川は左サイドから果敢にオーバーラップし、攻撃の起点になっていた。静岡ユースは、高原ら4選手を日本ユースに送り出したこともあって、苦戦を強いられ3連敗した。そんな中で、南は主将として最後までチームを鼓舞し続け、ゴールを死守していたのが印象に残る。



▲1997年大会 ユベントスからゴールを奪う高原

わなでピッチに立ち、状況が厳しければ敵いほど自分を表現できる強さを求めています。そういうものをSBS杯でも期待したいし、見せたいと思います。いまの若い選手たちは、海外遠征も多し、以前に比べると世界を本場に身近に感じています。その中で、自分を表現し、自分が通用するか試すということに関心が強い。世界大会のピッチで、是非そういう経験をさせたいと思います。AFC U-19選手権からU-20 W杯に進めるのは、上位4チーム。SBS杯をステップにチームを高めて、なんとしても突破したい。一戦一戦を、チームがつなぐって全力で戦いたいと思います。応援してください。

